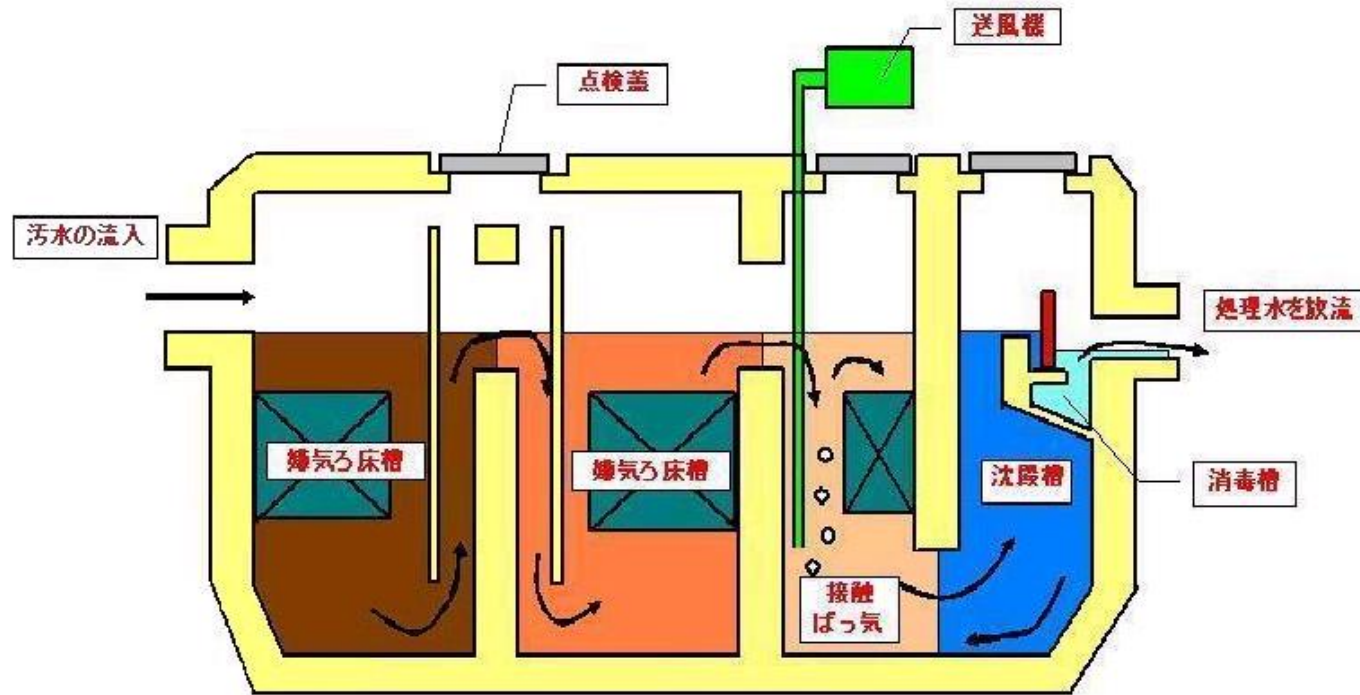


# 合併処理浄化槽の仕組み



1. 嫌気ろ床槽	汚水中の固形分を分離し、微生物(嫌気性)の働きで有機物を分解し汚れを浄化します。
2. 接触ばっ気槽	嫌気ろ床槽で浄化した汚水を、さらに酸素を必要とする微生物(好気性)の働きで有機物を分解し浄化します。
3. 沈殿槽	浄化された処理水の中に含まれる固形物を沈殿させ上澄み水を消毒槽へ送ります。
4. 消毒槽	処理水を塩素で滅菌し放流します。
5. 送風機	酸素を必要とする微生物に空気を送ります。

**BOD(生物化学的酸素要求量)とは**

水中の汚れを微生物が食べて分解するのに必要な酸素の量のことです。水中の酸素が少なくなるとBODの値は大きくなり、正常に汚水を処理できていないことになります。